

みずほCustomer Desk Report 2020/03/03号(As of 2020/03/02)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.69
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.69	1.1052	119.05	1.2804	0.6513
SYD-NY High	108.57	1.1185	120.74	1.2850	0.6568
SYD-NY Low	107.00	1.1010	118.10	1.2740	0.6460
NY 5:00 PM	108.32	1.1134	120.60	1.2753	0.6542
NY DOW	26,703.32	1,293.96	日本2年債	-0.263	▲0.25bp
NASDAQ	8,952.17	384.80	日本10年債	-0.140	2.00bp
S&P	3,090.23	136.01	米国2年債	0.8930	▲3.58bp
日経平均	21,344.08	201.12	米国5年債	0.9292	▲1.92bp
TOPIX	1,525.87	15.00	米国10年債	1.1510	▲1.16bp
シカゴ日経先物	21,435.00	405.00	独10年債	-0.6225	▲1.15bp
ロンドンFT	6,654.89	74.28	英10年債	0.4095	▲2.80bp
DAX	11,857.87	▲32.48	豪10年債	0.7645	▲7.65bp
ハンセン指数	26,291.68	161.75	USDJPY 1M Vol	9.36	0.49%
上海総合	2,970.93	90.63	USDJPY 3M Vol	8.07	0.15%
NY金	1,594.80	28.10	USDJPY 6M Vol	7.78	▲0.03%
WTI	46.75	1.99	USDJPY 1M 25RR	-2.65	Yen Call Over
CRB指数	163.50	4.05	EURJPY 3M Vol	8.54	0.18%
ドルインデックス	97.36	▲0.77	EURJPY 6M Vol	8.21	0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月2日	17:55	独 マークイット製造業PMI・確報	2月 48.0	47.8
	23:45	米 マークイット製造業PMI・確報	2月 50.7	50.8
3月3日	00:00	米 建設支出(前月比)	1月 1.8%	0.6%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	2月 50.1	50.5

【本日の予定】

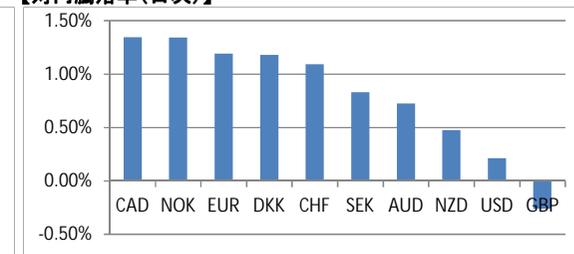
Date	Time	Event	予想	前回	
3月3日	12:30	豪 RBAキャッシュレートの	-	0.8%	0.8%
	18:30	英 カーニ-BOE総裁 講演	-	-	-
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 0.5%/-0.4%	0%/-0.7%	
	19:00	欧 CPI予想/CPIコア(前年比)	2月 1.2%	1.4%/1.1%	
3月4日	04:50	米 マスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-	

東京	週末に発表された2月中国製造業、サービス業PMIが過去最低を記録したことで、新型コロナウイルスの感染拡大による景気下押し圧力が意識され、オセアニア市場でドル円は窓を開けてスタート。一時107.00まで下落したものの、その水準では買い戻しも入り、東京時間のドル円は107.69レベルでオープン。黒田日銀総裁による異例の談話発表後に日経平均株価が買い戻されるとドル円は108.38まで上昇し、結局108.26レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.26レベルでオープン。パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長が先週末に利下げを示唆したことを受け、ドル売り・円買いが進んだ。107.52まで売られる局面もあったが、結局107.79レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2848レベルでオープン。新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえて英中銀が「あらゆる必要な手段を講じられるようにしていく」と表明すると次回会合(3月26日)での利下げの観測が高まり、売りが優勢となった。1.2753レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルジャー 00531444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、週末に発表された中国の2月PMIが製造業、非製造業ともに大幅に予想を下回ったことが嫌気される中、オセアニア時間に一時107.00をつける。売り一巡後、日銀による1日あたりで過去最大規模のETF買い入れの発表を受けて日経平均が堅調に推移する中、ドル円も108.57まで買われるが、一時1.15%台まで持ち直していた米10年債利回りが再び低下に転じる動きや米株先物の失速を眺めながら107.52まで反落し、107.79レベルでNYオープン。朝方は新規材料が乏しい中、107.80近辺でもみ合い。10時発表の米2月ISM製造業景況指数は2カ月連続で50を上回るも、コロナウイルスが米経済に悪影響を及ぼしつつあることを示唆する結果となり、発表後に安値107.40をつける。しかしその後、「明日に予定されているG7財務相の電話会談に中銀メンバーも参加とのヘッドラインを受けて、追加緩和の期待が強まり、108.15まで買われる。午後は買いが一巡し、107円台後半まで反落するが、終盤にかけて米株が急速に買い戻され、ダウ平均が1290ドル超上昇し過去最大の上げ幅を記録する中、ドル円も108.48まで高値を更新し、108.32レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、米金利が過去最低水準での推移を続ける中、1.1128までじりじりと上昇を続け、1.1113レベルでオープン。朝方は米10年債利回りが1.10%台以下の低水準で推移する中、ユーロがじりじりと買い戻され、1.11台後半まで上昇する。その後も米利下げ期待から欧米金利差縮小の見方も強まる中、1.1185まで高値を更新。終盤にかけて、米金利が急上昇したことから、1.1130近辺まで売り戻され、結局、1.1134レベルでクロス。

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】レンジの下限を警戒か

基本的にドル円相場である私であったが、当面は2017年以降に形成されたレンジ下限である105円をトライする展開を怖れている。理由は2つ。1つ目は、コロナウイルスが世界景気に与えるダメージは市場参加者が想定する以上に大きいと考えるからである。中国武漢での発症が報道された1月には誰も想定しなかったであろう、世界中へのウイルス拡散や感染者/死者増加。週末発表され過去最低を記録した中国2月製造業PMI。これが一時的な落ち込みで終わる可能性は低く、むしろこの中国景気悪化が世界景気に及ぼす影響、また日米欧主要国自身がコロナウイルスによって直接受ける打撃を勘案すると、なかなか世界景気V字回復のシナリオは描きづらい。斯かる事態に、先週末パウエルFRB議長が3月利下げを示唆する緊急声明文を公表、黒田日銀総裁の臨時談話、G7財務相による電話会議など、各国政府・中銀が迅速な動きを見せており、株式市場反発を横目にドル円も昨日東京市場に108円半ばまで反発したが、個人的には、足元の悲惨な状況を勘案すると、主要国の刺激策や中銀の緩和策で以ってしてもリスクオフのセンチメントを反転させることは出来ないと考えている。2つ目の理由は、バーニー・サンダース氏が民主党候補になる可能性が高まりつつある。Super Tuesdayの本日1日で、民主党代議員の1/3以上が決定的。先月3日の予備選挙開始前は、穏健派であるジョー・バイデンが有力候補とされていたが、蓋を開けてみれば思いのほかサンダース氏が健闘している印象。基本的に市場参加者のコンセンサスはバイデン氏だろうが、だからこそ、歳出拡大や法人税率引き上げ等を主張する急進左派のサンダース氏の可能性が高まってきた場合、大幅増税による米景気減速、企業業績悪化等に対する懸念が高まり、金融市場のリスクオフの反応は強くなる。個人的にこのリスクは軽視すべきではないと考えている。以上の理由から、3月末にかけてドル円が105円まで下落するリスクに警戒すべきではないだろうか(逸見)

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ブル	ブル	ブル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
ブル	ブル	ベア	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア
							ブル	ベア	
							8	12	

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報提供を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 逸見・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682